



平成 26 年 8 月 18 日

全国約 2 万台の全 A T M で 海外発行カードの I C チップ取引を実施

～平成 27 年 12 月頃より海外発行カードの E M V 対応を開始～

株式会社セブン銀行（以下セブン銀行、東京都千代田区、代表取締役社長 二子石 謙輔）は、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（以下 N T T データ）と協働し、全国に約 2 万台設置されている全てのセブン銀行 A T M で、平成 27 年 12 月頃より海外発行カードの I C チップ取引対応（E M V（※ 1））を実施します。

この対応により、海外で発行された I C 付キャッシュカード及びクレジットカードでの取引をより安全に行うことができるようになり、国際的な金融犯罪等へのより強固な対策が図られます。

今回、セブン銀行は A T M における I C カードの読取対応などを行い、N T T データは C A F I S®（※ 2）における I C カード取引電文対応を行います。

セブン銀行 A T M では、平成 19 年より海外発行カードで日本円を引き出すことができるサービスを提供してまいりました。今後も外国人観光客の多く訪れる商業施設、空港、観光地などへの A T M 設置を推進し、政府が推進するビジット・ジャパン・キャンペーンに貢献してまいります。

（※ 1）E M V [イーエムバイ]

金融関連取引用 I C カードの世界共通仕様。

Europay（ユーロペイ）、MasterCard（マスターカード）、Visa（ビザ）の 3 国際ブランドの

頭文字を取って名付けられています。

（※ 2）C A F I S® [キャフィス、Credit And Finance Information System]

N T T データが提供するオンラインクレジット情報サービスの名称。

クレジットカード会社や金融機関等を通信回線で結び、入出金情報をオンラインで中継するシステム。

（「C A F I S®」は N T T データの登録商標です。）

以上